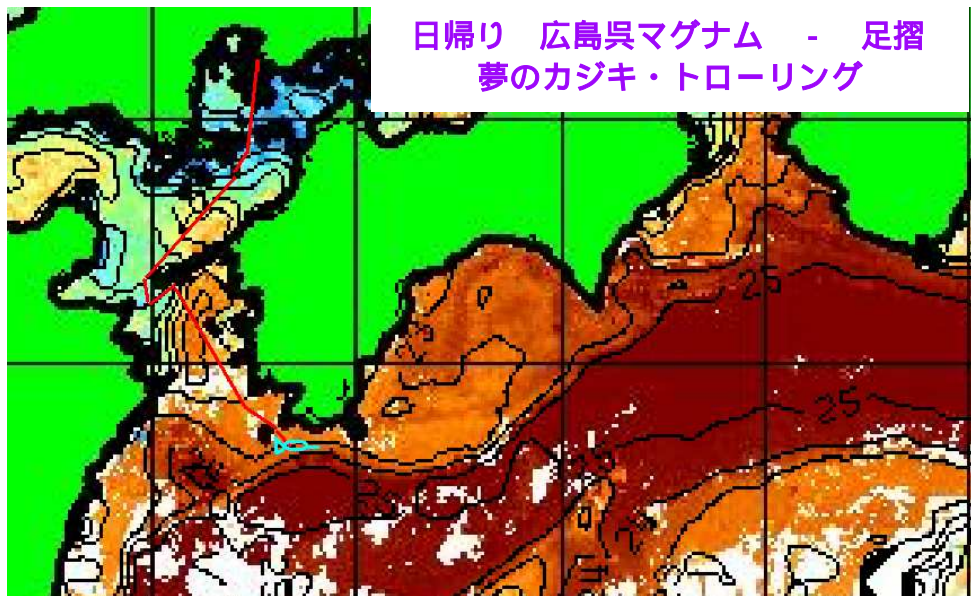


6月2日呉マグナム5：00出港
3日間の予定でのトローリング。

日帰り 広島呉マグナム - 足摺
夢のカジキ・トローリング

前は1ヶ月前に初めてこの「清風」に乗せてもらい3泊4日の足摺釣行。2日目アタリ一回でフックアップせず。3日目ベタ風の中で船を追い越しそうなヒレを追いかけてのフックアップ。60kgほどのカジキだったがいいジャンプで10分弱のファイト後40m手前で顔を振られフックオフ。

「清風」の平原オーナーはオフショアトローリングを始めてから10数年。初めてのカジキとのファイト。すごく楽しかった。トローリングを始められた頃はカジキなんて夢のまた夢と感じておられた様子。他艇が間近で釣り上げるのを目の当たりにされ、釣ってみたいと切望され始めたのが4年くらい前から。



呉から片道5時間30分佐田三崎港で給油 黒潮近し！

午前11時過ぎ

四国最南西端の柏島南2マイルからルアーを流す。既に南東からの風1.3m波高2m強。まだうねりは出ていないが波頭が時折崩れてPC-36でのトローリングが辛くなりつつある。アウトリガーを出したものの3本曳きに変更。(2日前は20マイル沖だったうっすらとした潮目がこの風で岸寄りになっているのかなー?)と何となく感じていたが、予報ではこれから風が強くなり、波高1.5m 2.5mになるとのこと。明日は3m。波が強くこれ以上沖に出るのは止めた。しかし、2日前のポイントはここからまだ15マイル沖...魚いるんだろうか? Woh...



6月2日 08:30
給油と
揚げたてのじゃこ天で前祝
佐田三崎港にて

12:10ヒット

ヒット時ポート後方に走った後リターンして50m後方からポートに向かってジャンプしながらこちらに突っ込んでくる。(もう少し近くだとあせるだろうなあ、去年のGWみたいに)春の足摺のカジキはポートに向かってジャンプし、「おまんら、なにしゆうがぜー！」と突っ込んでくる傾向にあります。それとすばらしいジャンプの連続。

ヒットして5分間くらいジャンプを繰り返し、(段々高さがなくなりつつあるな)と感じたら今度は潜り始めた。ヒットして20分、風が増す。1.5mくらいは吹いている。短い突風が混じり始め、後でクルーの山田さん撮影のビデオを見たら、ファイトしているオーナーの髪の毛が風でしっかり7:3分けになっていた。バックすると結構波が入り、すでにアフトデッキのみんなはパンツまでグッショリ。



ランディング直後、まだ生きてます。ギャブをかける時はまだ元気な色でした。ギャブをかけてからも手こずりやっと船上へ。通常はこの色に体色が変化してからギャブをかける方が暴れません。

風と逆の潮で船がかなりふらつく。パウは風下に落ち着いてくれないし、ニュートラルだと船が流されラインの上に行く。

かなり潜って手こずり始めた。これ以上潜られると風と潮が逆で結構こちらが不利になる。船を何度か回し、少しだけアングラが勝ち始めたかなあ？と思う矢先、ふと西の方を見ると2kmくらい先にコンテナ船が舳先をこちらに向けている。僕らはちょうどその船の真正面。15ノットくらいでは進んでる。ラインの方向より、船の針路が気になりだす。まともにコース上。5回長めのホーンを2セット。でも変進する様子なし。

ボートを急旋回した。相手船に当艇が操業中だと気付かせたい。ボートを魚の真上にする。コンテナ船との距離が500mくらいになってFBから体をせり出し避けてくれるよう大きく手を振るがだめ。

も一度半径20mくらいで旋回し、元の場所。小型コンテナ船との距離あと200m。

と、かすかに舳先がこちらから逸れた。10秒ほどしてそのコンテナ船は50m横を何食わぬ様子で悠然と通っていった。

それでもファイトは続く。。。。

30m巻いては20m、40m巻いては60m一瞬で出されることを幾度も繰り返し、アングラのオーナーはファイティングチェアの上で大きく揺さぶられる。今まで共にカジキに夢馳せたクルーに囲まれつつのファイト。

1時間のファイト後ギャフ。ポールが外れず、手こずる。レギュラーギャフで頭部をサポート。

「これぞカジキ釣り」といった感の強情なすばらしいカジキとの出会いでした。

午後8時の帰港後のマグナムスタッフ総出で計量魚拓取りと解体は手際よく、僕も楽をさせて頂きました。夢のサポートご苦労様でした。



3m24cm 155kg ASHIZURI BLUEと
夢叶い感慨一入の「清風」オーナー

使用タックル

ロッド：

今回の釣行のために追加してくれた新品のアルテクノス80カーブバット

リール：

CRCを吹きまくってグリップまで滑るペン・インターナショナル70

(ちなみにCRCはグリスを溶かし落とします。稼動部分には緊急時以外は常用しない方が無難です。皮膜を作るならシリコンクリーナーを。グリップには付けなくて。シリコンクリーナーはソフトヘッドルアーのクリーニングにも使います。)

ライン： 交換したてのモモイ・ハイキャッチ(110-)80ポンド

リーダー： モモイ・ハイキャッチ300ポンド

ルアー： トップガンNC14bk

フック： JobuダブルRS仕様(トップガンフィッシング・オリジナル)

フライギャフ： ポールが外れず苦労したポンパネット

(カジキ釣りではスタンダードですが、ロック機能のおかげで、掛けてからが危険な場合もあります。元気なカジキに使用する場合はロック部分を削ってなくすか、トップショットギャフを。

レギュラーギャフ：

トップショットギャフ4インチフックで頭部をサポートし魚をコントロール。

推奨 - 楽でより安全です。通常のレギュラーギャフはフックが伸びます。

